

## ごあいさつ



経営管理委員会会長 今井 長司

代表理事理事長 桑 原 隆

皆さまには、日頃より、新潟県信用農業協同組合連合会（JAバンク新潟県信連）に対して格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は、昭和23年の創立以来、「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合精神の基本理念に基づき、豊かな「農業」と「暮らし」を金融面からサポートしてまいりました。このたび、当会の事業・経営状況について皆さまから一層のご理解をいただくため、平成28年度の業績や活動内容をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ぜひご覧いただき、当会へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

平成28年度のわが国経済は、個人消費や設備投資など内需が伸び悩みましたが、先進国をはじめとした海外景気の拡大を受け、外需主導で輸出や生産が増加したことから、緩やかな回復の動きとなりました。

金融政策においては、日銀が新たな試みである「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入し、短期金利、長期金利は低水準での推移が続いたことから、運用・収支環境は、低経済成長による資金需要の減退、金融機関間での競争の激化等も加わり、より一層厳しい情勢となりました。

このような状況のもと、JAバンク新潟（県下24JAと当会）では、新たな中期戦略の初年度として、JAバンク自己改革を念願に置き、農業メインバンク・生活メインバンク機能の強化を図るとともに、更なる健全経営確立に向けた取り組みを進めました。

平成29年度は、JAバンク新潟の中期戦略および当会の第16次中期経営計画の中間年度となります。「農業の発展と地域の活性化に一層貢献するJAバンク」の実現」という基本目標の達成に向け、JAバンク新潟の県域本部機能のさらなる発揮に努めるとともに、JAと一体となってJAバンク自己改革を着実に実践し、組合員をはじめ地域の皆さまからの期待と信頼に応えてまいり所存ですので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

新潟県信用農業協同組合連合会

経営管理委員会会長

今井 長司

代表理事理事長

桑 原 隆